

Here We Go!

ENGLISH COURSE



編集の
趣旨と特色



光村図書

内容解説資料

この資料は、一般社団法人教科書協会が定めた
「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

COLUMBUS 21 から **Here We Go!** へ

平成5年, COLUMBUS として出発した英語教科書は, Here We Go! として新しく生まれ変わります。光村図書は, 創刊当初から「コミュニケーションのための英語」, そして「心を育てる英語」を大切にしてきました。その姿勢は継承しつつ, これからの時代を生きる生徒のための, 新しい教科書を目指します。Here We Go! ——「さあ行こう!」「やってみよう!」という掛け声とともに。

子どもたちの未来のために, 光村図書は, 教科書の作成にあたって, 「環境」「健康」「子どもの特性」に配慮しています。

- ・原料や製法など, 環境に配慮した紙を使用しました。
- ・環境と健康にやさしい, エコマーク認定の植物油インキで印刷しました。
- ・カラーユニバーサルデザインに関して, 細心の注意を払いました。
- ・生徒の学習負担を軽減するように配慮された書体を使用しました。
- ・特別支援教育の視点から, 専門家の入念な校閲を受けました。

38 光村 中学校外国語科 英語 705



4人の中学生たちが新しい世界へと走り出す。やってみよう, まちがいを恐れずに。

38 光村 中学校外国語科 英語 805



ニューヨークに向かって出発するKota。もっと世界を知ろう, 夢を見つけるために。

38 光村 中学校外国語科 英語 905



未来のKotaやTinaたちは何をしているだろう。続けていこう, 友情も英語の学習も。

著作関係者

太田 洋 東京家政大学教授
小泉 仁 東京家政大学教授

相沢秀和 東京都国分寺市立第一中学校指導教諭
青山 彰 白梅学園高等学校校長
大畠マリア 北海道厚岸郡浜中町立霧多布中学校教諭
大和田和治 立命館大学教授
折橋晃美 長野県佐久市立野沢小学校・
泉小学校専科教諭
加賀田哲也 大阪教育大学教授
神白哲史 専修大学准教授
金原瑞人 法政大学教授
上山晋平 広島県福山市立福山中・高等学校教諭
向後秀明 敬愛大学教授
小寺令子 東京都文京区立第十中学校元教諭
小松篤史 神奈川県横浜市立横浜吉田中学校教諭
杉内光成 獨協埼玉中学高等学校教諭
関 紀子 千葉県千葉市立幕張南小学校元校長
関谷美佳子 秋田県秋田市立下新城小学校校長
田頭憲二 東京家政大学准教授
達川奎三 広島大学教授
東後昌弘 立教大学非常勤講師

Anthony P. Newell 早稲田大学教授
Donald Keene コロンビア大学名誉教授
Marc Helgesen 宮城学院女子大学教授

中川右也 鈴鹿高等学校教諭
長沼君主 東海大学教授
畑中 豊 福島県双葉郡双葉町立双葉中学校教諭
羽山 恵 獨協大学准教授
原田博子 東京都文京区立第十中学校教諭
平山朝子 トキワ松学園中学校高等学校教諭
吹原顕子 大阪商業大学専任講師
星野由子 千葉大学准教授
本田勝久 千葉大学教授
増渕素子 東京都稲城市立稲城第一中学校主任教諭
松村昌紀 名城大学教授
松本涼一 福島県双葉郡楢葉町立楢葉中学校教諭
宮崎瑞之 秀明大学准教授
安原美代 都留文科大学元講師
山口 亮 神奈川県横浜市立寛政中学校教諭
和田憲明 姫路大学教授

光村図書出版株式会社編集部

カラーユニバーサルデザインに関する校閲

市原恭代 工学院大学准教授
NPO法人カラーユニバーサルデザイン
機構 (CUDO) 理事

特別支援教育に関する校閲

佐島 毅 筑波大学准教授

内容解説資料

発行者 小泉 茂
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話 03-3493-2111 (代表)
光村図書ウェブサイト www.mitsumura-tosho.co.jp



印刷 株式会社加藤文明社
デザイン 氏デザイン



光村図書

“生徒が学びの主役になる!”

新しい, 光村図書の 英語教科書

新しく生まれ変わった, 光村図書の英語教科書 **Here We Go!**

ストーリーの登場人物とともに主体的に英語を使いながら,
身近なことも社会的なことも, 「自分の言葉」で表現できる生徒を育てたい。
そんな願いを込めました。

編集の
基本方針

この教科書は, 教育基本法, 学校教育法の理念および学習指導要領の目標を実現し,
「グローバル社会に必要な英語の力・心・意欲を育てる」という方針のもと編集しました。

1

英語を使う
「力」が育つ。

「英語を使ってできること」を
着実に増やしていきます。

2

英語を使う
「心」が育つ。

世界で英語を使うための見方・
考え方, 資質と能力を養います。

3

学びに向かう
「意欲」が育つ。

学びたい気持ちを引き出し,
次の学びにつなげます。



Here We Go!

これからの英語の授業を変える、新しい教科書の特徴

これまで先生方が培ってこられた指導のノウハウを生かしながら、新しい時代に必要な資質・能力を育成する授業へと導きます。

新学習指導要領が
目指す学びを実現します

特色



英語を学ぶ原動力！

ストーリー

➡ p. 04

特色



CAN-DO中心に設計した

新しい構成

➡ p. 10

特色



世界を広げ、多様な見方・考え方を育てる

リアルな場面・題材

➡ p. 20

先生方の疑問や
不安が安心に変わります



これからの課題に
対応した教科書の工夫

Q1 小中連携	p. 26
Q2 語彙数の増加	p. 28
Q3 高校入試	p. 30
Q4 新しい評価	p. 32
教科書基本データ	p. 32
編集上の配慮	p. 33
指導書・周辺教材	p. 34

新学習指導要領のキーワード

学びに向かう力、人間性等

生きて働く知識・技能

思考力・判断力・表現力等

何ができるようになるか

主体的・対話的で深い学び

これからの英語教育の課題

- ・小学校外国語の教科化
- ・指導と評価の一体化
- ・語彙数の大幅な増加
- ・特別支援教育への配慮
- ・新しい文法事項
- ・英語の授業は英語で
- ・入試改革
- ・QRコード※を活用した学習

※QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。

英語を学ぶ原動力！ ストーリー

創刊当初より、3年間ひと続きのストーリーから成る、光村図書の英語教科書の本文。
個性豊かな4人の中学生の成長物語は、生徒が英語を学ぶ原動力となりました。
Here We Go!では、ストーリーの魅力を最大限に生かした言語活動を通して、
生徒がモチベーションをもって学び、力をつけていくことをサポートします。

心と言葉が
離れないから、
自然な英語が
身につく

1年 Unit 4 Part 2 (新学期の転校生)

He's a good basketball player, isn't he?

ワクワクする
出会い

サプライズで
お祝い

1年 Unit 8 Part 3
(誕生日パーティー)

真剣に
ディスカッション

発達段階に応じた
多様なエピソード

1年: 夏祭り, 初詣など
2年: ニューヨーク旅行,
職業体験, 演劇部
の冬公演など
3年: 広島での平和学習,
AIと言語学習など

つらい
花粉症

First, you have to get down
on the floor and then

1年 Unit 1 Part 2 (「春は好き?」)

2年 Unit 5 Part 1 (防災訓練)

個性豊かな登場人物

TinaやNickは、
光村図書の小学校英語
教科書にも登場します。



Kota

自分の意見を言うのが
少し苦手。トランペット
が得意なほか、意外な
特技がある。



Tina

アメリカ出身。ニュー
ヨークから引っ越して来
た。快活で、責任感が
強い。ダンスと歌が好き。



Nick

Tinaの弟。人懐っこく、
Tinaの友達とも仲良し。
あることをきっかけに、
Kotaを慕うようになる。



Eri

Kotaとは幼なじみ。好
奇心旺盛で勝気。ピア
ノが得意で、英語にも
自信がある。



Hajin

1年の2学期に韓国か
ら転校してきた。普段は
ややクール。バスケット
ボールが得意。

2年 Unit 1 Part 2 (放課後)

突然の
恋の始まり?!

I was looking for you.

We're so proud
of you all!

2年 Unit 2 Part 3 (バスケットボール大会)

大切な仲間との
きずな

突然の別れ

3年 Unit 6 Part 3 (合唱コンクール)

Tell us why you're
leaving.

3年 Unit 2 Part 3 (修学旅行)

I've never seen such
a beautiful sunset.

ストーリーで
生徒が変わる、
だから授業が
変わる

1 「もっと読みたい」



「生徒たちはストーリーが大好き!」これは、光村図書の英語教科書をお使いの先生方に共通する言葉です。英語が得意な子もそうでない子も、単元が進むごとにストーリーに夢中になります。展開を楽しみながら聞いたり、せりふ一つ一つに感情を込めて音読したりと、意欲的に取り組むようになるので、英語に触れる量が自然と増えていきます。

平成28年度版をお使いの先生方に聞きました!

ある生徒が、「ストーリーの続きがどうしても気になって、一つ上の兄の教科書を借りて読んだ。」と話してくれたのを聞き、大変驚きました。



生徒の学びの姿がどう変わる?
Here We Go!のストーリーがもたらす
3つの効果

2 「自分だったら」



登場人物に共感しながらストーリーに入り込むうち、自分に置き換えて考えたり、描かれていない場面を想像したりすることを楽しむようになります。そこから芽生える「自分だったら」という気持ちが、英語でのアウトプットや対話的な学びにつながります。また、オリジナルストーリー作りなど、表現力の育成に効果的な言語活動に発展させることもできます。

平成28年度版をお使いの先生方に聞きました!

登場人物の発話の意図を考えさせる“Why?”と、ストーリーと生徒を近づける“How about you?”は魔法の言葉です。この言葉を投げかけるだけで、「Tinaはここではきっとこういう気持ちで…」「私なら…」と、生徒が思い思いに語ってくれます。



3 「こんなときは、こう言う」



英語がどんな目的・場面・状況で使われているかを理解するのに、ストーリーは最適です。例えば、「Who's that?」は、校庭で知らない男の子がバスケットをしているのを見たTinaが『あの人誰かな?』と話す場面が出てきたなど、記憶に残りやすくなります。ピクチャーカードや映像があれば場面と英語がより深く結びつき、生徒自ら思い出して使えるほどに定着します。

平成28年度版をお使いの先生方に聞きました!

授業中でも休み時間でも、ストーリーに出てきたフレーズを生徒は楽しんで使っています。「あのときのNickのあのせりふが…」と生徒自ら振り返ることもしばしばです。



教科書連動コンテンツ

一度見たら忘れないストーリー。
スライドアニメはこちらから!

教科書紙面のQRコードから、
全Unitのスライドアニメが視聴できます。



Q どうしてストーリー なんですか?

Here We Go! のストーリーは、登場人物がいろいろな体験や交流を通して成長していく、共感しやすい内容です。そのため、英語に抵抗がある生徒でも、くり返し聞いたり読んだりすることができます。また、ストーリーの中で出会う英語には、言葉の学びに必要な(新学習指導要領が求める)「目的」「場面」「状況」の3つの要素が揃っており、くり返し触れることで豊富なインプットが得られます。さらに、「自分ならどうするかな?」と考えることが自然なアウトプットにつながります。こうしたストーリーの特徴が、言葉を身につけやすくするのです。

目的・場面・
状況がある

くり返し、
楽しく学ぶこと
ができる

アウトプットに
つなげやすい

これらの条件を全て満たし、
良質な言葉の学びを保証するのが、
Here We Go!の
ストーリーなんです!

編集代表
東京家政大学教授
太田 洋



ストーリーを 最大限に活用して 学びを深める

場面と意味

ストーリーの中で出てきた表現を再度提示。どのような場面で、どのような内容を伝えていたかを思い出させることで、使用場面と文型・文法との結びつきを強めます。

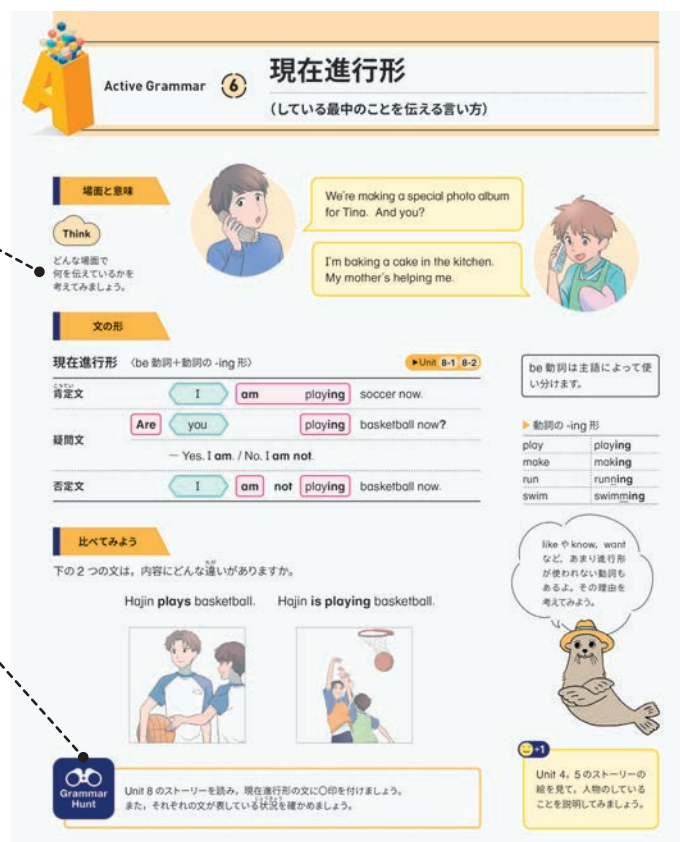
Grammar Hunt

既習ページをふり返るコーナー。該当する文法事項をゲーム感覚で既習Unitの本文から探す、スパイラルな活動を通して、定着を図ります。

Active Grammar

場面にフォーカスして 文法事項を整理する

新学習指導要領は、知識・技能を「生きて働く」ものとして身につけることを求めています。文構造や文法の知識の単なるまとめではなく、言語の使用場面と意味・形とを結びつけながら整理するActive Grammarは、知識・技能を活用できるようにするのに最適です。



1年 p. 128 Active Grammar 6

Play Back the Story

リスニングで無理なく 前学年との学習をつなぐ

2・3年の教科書の巻頭に、前学年のストーリーをさっと聞いて簡単な質問に答える活動を設定し、無理なく復習できるようにしました。途中の学年からHere We Go!を使うことになった生徒にも、前学年とのつながりがわかるよう配慮しました。



2年 p. 8 Play Back the Story

Story Retelling

自分の言葉で 話す力をつける

ストーリーの内容を英語で伝える活動を通して、自分の言葉で話す力をつける教材です。

→ 詳しくは本書16ページ

追加のイラストも!

Unitのページ内には掲載されていない追加のイラストが、生徒の思考と発話を促します。



1年 p. 142 Story Retelling

新しい文法事項も
無理なく導入!

感嘆文

What a big lantern!



1年 p. 110 Unit 7-3 「みんなで初詣」

現在完了進行形

I've been thinking about our trip to Hiroshima.



3年 p. 34 Unit 3-2 「西村さんの思い」

仮定法

I wish I could stay.



3年 p. 104 Unit 8-1 「お別れの日」

ストーリーだからできる、
こんな授業実践も!

オリジナルストーリーを作る

友達と伝え合う喜びを感じられる、生徒に人気のある言語活動です。登場人物の性格やこれまでの出来事を思い出ししながらアイデアを出し合う過程は、全ての生徒が楽しんで取り組みます。

ラウンドシステム

教科書の英語を1年間で5回くり返して学習し、豊富なインプットから英語の発信力の向上を図る指導法です。英検合格者の増加など、その成果が目まぐるしく見えています。

3年の巻末には、
5年後に登場人物が再会する、
おまけのシーンを掲載!

3年 p. 119 Extra



2 CAN-DO中心に設計した新しい構成



ストーリーに沿って目標を達成できるように、主教材を構成しました。
また、領域別の英語力を高めるため、帯教材・小教材を配置しました。
「何ができるようになるか」(CAN-DO)で全教材を貫いた、教えやすく学びやすい構成です。

学年目標

学年を通して「できるようになること」を示しました。3年間の見通しをもって、主体的に学ぶことができます。

自己評価

巻末のCAN-DO Listで、5つの領域別に、目標に対する自分の到達度をチェックすることができます。

CAN-DO List

英語の基礎となる5つの技能を身につけて、それを使いこなすことができます。英語の基礎をしっかりと身につけて、英語の基礎となる5つの技能を身につけて、それを使いこなすことができます。

学年	目標 (CAN-DO)	達成する目安	到達した目安
1年	英語の基礎となる5つの技能を身につけて、それを使いこなすことができます。	- Let's Be Friends! 1 - Sounds and Letters 1 - Unit 1 1, 2, 3, 4, 5	- Let's Be Friends! 1, 2, 3, 4, 5 - Sounds and Letters 1 - Unit 1 1, 2, 3, 4, 5
2年	英語の基礎となる5つの技能を身につけて、それを使いこなすことができます。	- Unit 2 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 3 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 4 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 5 1, 2, 3, 4, 5	- Unit 2 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 3 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 4 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 5 1, 2, 3, 4, 5
3年	英語の基礎となる5つの技能を身につけて、それを使いこなすことができます。	- Unit 6 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 7 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 8 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 9 1, 2, 3, 4, 5	- Unit 6 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 7 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 8 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 9 1, 2, 3, 4, 5
4年	英語の基礎となる5つの技能を身につけて、それを使いこなすことができます。	- Unit 10 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 11 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 12 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 13 1, 2, 3, 4, 5	- Unit 10 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 11 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 12 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 13 1, 2, 3, 4, 5
5年	英語の基礎となる5つの技能を身につけて、それを使いこなすことができます。	- Unit 14 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 15 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 16 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 17 1, 2, 3, 4, 5	- Unit 14 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 15 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 16 1, 2, 3, 4, 5 - Unit 17 1, 2, 3, 4, 5

126 英語の基礎となる5つの技能を身につけて、それを使いこなすことができます。

1年巻末 pp. 174-175 CAN-DO List

本書の構成

「できるようになること」がわかりやすく、
学びの見通しがもてる

Here We Go! は、CAN-DOの観点から全教材を設定。学年の初めに全体を見通し、具体的にわかりやすい目標をもてるよう、巻頭の「本書の構成」に示しました。また、領域別のCAN-DOについては、巻末のCAN-DO Listで確認することができます。

本書の構成

本書は、主教材のUnitのストーリーに沿って、バランスよく英語の学習ができるように作られています。帯教材と小教材を活用することで、より総合的な英語の力を身につけられるようになっています。

Let's Be Friends!

小学校の学びを中学校の学びにつなげよう

【主教材】
学習の中心となる教材

【帯教材】短時間学習用の教材

Sounds & Letters

文字を正しく読めるようにしよう。

Story Retelling

自分の言葉で話す力を伸ばそう。

Let's Talk!

その場で会話をする力を伸ばそう。

Active Words

使える語句を増やそう。

【Unitの構成】

扉	Part	Goal
話題を予測する。話の大筋をつかむ。	話の細部を読み取る。場面に沿った練習をする。	単元の目標となる言語活動に取り組む。

4 four

1年生の目標

自分のことや日常生活について、
まとまりのある内容を伝え合うことができる。

2年生の目標

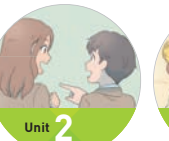
自分の町や日本の文化などについて、
内容を整理して伝え合うことができる。

3年生の目標

これまでの自分のことや社会的な問題などについて、
考えを順序立てて伝え合うことができる。

1学期 自分のことを伝える

- 出会い
- 部活動
- 夏休み



You Can Do It! 1



You Can Do It! 2

2学期 身近な人のことを伝える

- 転校生
- 学校公開
- 家族

【小教材】主教材を補強する教材

Daily Life

日常生活の場で英語を使う力を伸ばそう。

World Tour

さまざまな国の文化に触れ、視野を広げよう。

Let's Read

さまざまな話題や形式の文に触れ、読み方を身につけよう。

Active Grammar

言葉の使用場面と意味、形やルールを整理して、適切に使えるようにしよう。

【本書で使われている主な記号】

Listen 聞く活動	Read 読む活動	Speak やり取りする活動	Speak 発表する活動	Write 書く活動	この二次元コードから、学習の参考となる音声や動画などの資料を読み取ることができます。インターネットの環境によっては、通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
Check 絵や写真を見る活動	Watch 映像を見る活動	Think 考える活動	英語らしく発音するためのポイント	KEY コミュニケーションを円滑にするためのポイント	Word Board 自己表現に役立つ語句

four

five 5

学期目標

UnitおよびYou Can Do It!での学びを通して「できるようになること」を、学期ごとに示しました。パフォーマンステストなどの評価を実施する際の目安として活用できます。

教材のねらい

各教材のねらいや、その学習を通してつけたい力を示し、目的意識をもって活動に取り組めるようにしました。

小教材

(詳しくは本書20ページ)

Unitの構成

「できるようになること」で単元を貫き、学びを少しずつ発展させる

各Unitは「扉」「Part 1～3」「Goal」が基本構成です。言語習得理論に沿った紙面の順に、9単位時間で授業を進めます。各単元の目標 (CAN-DO) に向かって基礎的な知識・技能を習得・活用しながら、5領域の力をバランスよく伸ばすことができます。

扉

目標の確認、
インプット

単元目標

1年 pp. 104-105 Unit 7 扉

Unit 7 New Year Holidays in Japan

今日は1月2日。ぼくたちは4人で初詣に行く約束をしていた。すごく楽しみにしていたんだ。それなのに...

Goal Reading Writing

写真を見て、ストーリーの話題を予測する。
What did you do during the winter vacation?
How about Tina? What did she do?

ストーリーのおまかな内容をつかむ
1. 音声を聞き、Tinaたちの話に出たことを、左の写真から3つ選んで()に記号を書きましょう。
() () ()
2. 映像を見て、内容を確かめよう。

Word Board

ate soba made osechi saw the sunrise went to a temple enjoyed flying a kite put on a kimono tried calligraphy

紙面右上のコードを読み取り、Listen/Watchの音声・映像を視聴することができます。

扉ページがあることで、この単元で「何ができるようになるか」が生徒にもはっきりわかります。

授業の流れ 第1時(配当1時間) ※2年以降は、扉を1ページで構成しています。

1 Unitの話題の予測・導入

タイトルや絵・写真を使って題材への興味づけを図ります。生徒自身の話を引き出すやり取りをしながら、話題の予測や語彙・表現の導入をします。

2 単元目標の確認

単元目標を確認します。単元終了時に「何ができるようになっているか」をイメージし、学習の見通しを立てます。

3 ストーリーの概要理解

【Listen】Part 1～3の本文(ストーリー)全体を通して聞き、内容を推測しながら概要を捉えていきます。
【Watch】スライドアニメなどで答えを確かめながら、ストーリーの概要を理解します。

Part

インプットと小さな
アウトプットをくり返す

左ページのストーリーも
右ページの言語活動も、
一貫して「冬休みの出来事を
伝えることができる」という
CAN-DO形式の目標を
中心に進められます。

学習の案内役
オットー先生

Tinaが大みそかにしたこと

ストーリーと
言語活動の場面が
同じだから、習ったことが
すぐに使えるね！

学習の案内役
カカポ

効果的に関連

1年 pp. 106-107 Unit 7 Part 1

Part 1 それぞれ過ごした大みそか

Q Tinaが大みそかにしたことはどのようなことでしょうか。

Tina: Happy New Year!

Hajin: Happy New Year, Tina!

Tina: Eri, that's cute. What is it?

Eri: It's an *omamori*, a good luck charm. I bought it at a temple.

Tina: I see. I also went to a temple on New Year's Eve. I rang a big bell.

Eri: Hajin, how about you?

Hajin: I didn't do much. I stayed home and watched TV with my family.

New Words

- luck
- charm
- buy → bought
- eve
- New Year's Eve
- ring → rang
- bell
- did
- TV

Happy New Year. 新年の挨拶

did not → didn't

cute

luck

真なるuの発音に注意

先生たちが冬休みにしたこと

先生たちが冬休みにしたことについてみんなの前で話しています。それぞれがしたことについて✓を付けましょう。

(1) Ms. Brown

A cleaned my house B watched TV

C baked a cake D tried omikuji

(2) Mr. Hoshino

E saw Mt. Fuji F made osechi

G bought a sweater H went to the beach

あなたが冬休みにしたこと

あなたが冬休みにしたことを書きましょう。

過去の出来事を言う。

I go to school every day.

I went to a temple on New Year's Eve.

I watch TV with my family.

I watched TV with my family.

動詞の過去形

過去の出来事を言うときは、動詞の形を変えます。go → went のように不規則に形を変える動詞は、watch → watched のように規則的に-ed や-d を付ける動詞があります。

Active Grammar p. 116

Q 「CAN-DO中心」って、これまでと何が変わるんですか？

これまでは文法事項などの言語材料が指導の目標になりがちでしたが、これからは「CAN-DOリスト形式の学習到達目標」を設定し、生徒が身につける資質・能力を、5つの領域ごとに「～することができる」という能力記述文で表します。各単元において、英語を使って何ができるようになるかという具体的な目標を教師と生徒が共有し、その達成のために教師は適切な方法で教材を扱うことが求められます。さらに、当該目標の達成度合いで評価が行われるため、指導と評価がより明確なラインで結ばれることになります。Here We Go! の各Unitでは、扉からGoalまでのページまでそのラインが明確になるよう構成を工夫し、評価をしやすくしました。

「～することができる」という具体的な目標の達成度合いで評価を行うことが、求められるようになります。

編集委員 敬愛大学教授
元 文部科学省 教科調査官
向後 秀明

Goal

少し大きなアウトプット、
ふり回り

扉からGoalまでのラインが明確で、
扉ページからの自分の成長が
実感できる構成です。

1年 pp. 114-115 Unit 7 Goal

Goal 冬休みの楽しい出来事を伝えよう

Reading Ms. Brownに書いた、Kotoからのはがきです。Kotoはどこに行って、どんなことをしてきたのでしょうか。

Dear Ms. Brown,

How are you? I enjoyed the winter vacation. I visited my grandparents in Nagano. We had a lot of snow there. One morning, I saw a deer in the woods. It was so pretty. I took a nice picture. I want to show it to you. How was your winter vacation? I enjoy your English lessons. I look forward to the next class.

Best wishes, Imura Kataro

Writing あなたのALTに宛てて、冬休みの出来事を伝えるはがきを書きましょう。

1. 次の質問に答えましょう。

(1) Where did Koto go?

(2) What did he do there?

2. Kotoの体験したことや気持ち、具体的に書かれている部分に線を引きましょう。

For Writing はがきを書くときは、次のような構成を参考に書いてみよう。

- 相手の名前 (例) To Tina, / Dear Ms. Brown.
- 寒さの表現 (例) It was so cold.
- 楽しかった出来事 (例) I saw a deer in the woods.
- 感想や気持ちを伝える表現 (例) I enjoyed the winter vacation.
- 相手の名前 (例) Your friend, / Yours, / Love.

New Words

- postcard
- snow
- deer
- wood(s)
- pretty
- take → took
- lesson(s)
- forward
- best
- look forward to ~

Words in Phrases はがきで使える表現

- Best wishes, / Best regards, / Take care, / Sincerely, / Yours, / Your friend, / Cheers, / Love.

New Words

- regards
- care
- sincerely

ふり回り

はがきを読み合っ
て、いちばん楽し
そうなる冬休み
を選んでみよう。

はがきを書き合っ
て、冬休みの出来
事や感想などを伝
え合おう。

はがきを書き合っ
て、冬休みの出来
事や感想などを伝
え合おう。

ふり回り

はがきを書き合っ
て、冬休みの出来
事や感想などを伝
え合おう。

Goal 言語活動例(書く)

1年	自己紹介カード、身近な人の紹介文、写真のキャプション
2年	日記、職場体験レポート、観光案内文
3年	読んだ文章の感想、投稿文に対する意見、手紙

授業の流れ 第8・9時(配当2時間) ※1年 Unit 3までは、配当1時間のページ構成です。

1 インプット型の活動

各Partでの学習内容をふまえて、読む目的の設定された初見の文章を読み、内容の理解度をはかる問いに答えます。

2 アウトプット型の活動

これまでの各Partの学習内容や左ページで理解したことを活用して、自己表現活動に取り組みます。

3 ふり回り(自己評価)

Unitの学習をふり回り、現在の自分の達成度を評価します。また、巻末のCAN-DO Listで示された技能目標とのつながりや次の言語活動への意識づけをします。

授業の流れ 第2・3時(配当2時間) ※各Part同様に、第7時まで進めます。

1 本文中で基本文や語彙を確認

本文を読み、①音と文字を一致させます。次に②Qの答えとなる文に線を引く、基本文に着目します。内容をよく理解してから、③音読練習をします。

あわせて活用！

指導書 ワークシート編

本文読み取りの
ための問いが
充実！



2 目的や場面に沿って使う練習

Listen→Speak→Writeの順に、基本文や語彙を使う練習をします。言語活動の目的や場面が左ページの本文と同じになるよう配慮して教材を作成。インプットからアウトプットへと学習内容がスムーズにつながります。

3 基本文を確認・整理

使いながら学んできた表現について、「どのような目的や場面、状況で使うのか」を確認め、また、形やルールを整理します。活用後にまとめることで、単なる知識ではなく、活用のしかたもしっかり定着します。

You Can Do It!

技能統合型の言語活動で、
思考力・判断力・表現力
を養う

各学年3か所（各学期末）に、それまでに学習した知識・技能を活用して取り組む、5領域を統合した言語活動を設定。これらは一般に「タスク」※と呼ばれている課題の考え方に基づいており、思考力・判断力・表現力の育成に最適な教材です。

※タスクとは、英語を聞いたり話したりすることで情報を伝達・共有したり、問題を解決したりする課題です。表現の際には生徒自らが用いるべき表現、話すべき内容を考え、工夫して目標の達成を目指します。

思考・判断・ 表現する言語活動

目的や場面・状況に応じて伝える内容を考え、表現する活動です。アウトプットの型がないからこそ、思考力・判断力・表現力が養えます。対話的な学びのステップ(Thinking)も設定しています。

学校行事の紹介ページを作ろう

あなたの中学校が英語のウェブサイトを開業することになりました。1年間の学校行事を紹介するページを作りましょう。

Reading Tinaのニューヨークの友人が通うHudson Middle Schoolのウェブサイトの一部です。自分たちの学校と同じところや違うところは見つかるでしょうか。

Welcome to Hudson Middle School!

Field Trip

Every class went to different places. Some classes visited a museum. Other classes went to the park. The famous Central Park is next to our school.

School Trip

We have a school trip in summer. This is our popular event of the year. Last year, we went to the U.K. and visited some museums.

Science Fair

In winter, we have a science fair. Every student studies one topic and makes a poster. The elementary school students always come and enjoy this event.

Talent Show

Do you like being on stage? We have the "Hudson Middle School Talent Show" in March. Dancing, singing a song or performing a comedy show, you can do anything.

[115 words]

New Words

welcome middle field field trip different other Central Park セントラルパーク trip school trip event last fair topic poster elementary elementary school talent song stage perform(ing) welcome to ~ last year

Thinking あなたの学校のウェブサイトでは、どのグループで話し合い、4つの行事を選んでください。

[例] School Open Day In June, we have a school open day. You can try our school lunch.

1 2 3 4

Speaking A4の用紙1枚にページのイメージをまとも、見せながらグループごとに発表しましょう。発表した後に、グループ同士で見せ合い、お互いのページにコメントを書きましょう。

クラスで撮った写真を使っていいね。

学校行事の紹介ページを作ることができるかな。

ふり回り

まだできない 助けがあればできる ひとりできる 自信をもってできる

CAN-DO R-1 CAN-DO SP-2

1年 pp. 132-133 You Can Do It! 3

You Can Do It! 一覧

学年	タイトル	活動形態
1年	自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	プレゼンテーション
	「ドリームファミリー」を紹介しよう	プレゼンテーション
	学校行事の紹介ページを作ろう	ポスターセッション
2年	わが町観光プランをおすすめしよう	プレゼンテーション
	職業診断のチャートを作ろう	チャートを作る
	日本のおもしろいものを紹介しよう	クイズ大会
3年	「過去」と「現在」の相違点を挙げよう	ディスカッション
	学校に必要なものを考えて意見を伝えよう	ディスカッション
	3年間で締めくくる言葉を考えよう	詩を作る

Q どうして「タスク」が必要なんですか？

言語材料ごとに練習を積んでいくだけで、英語を使いこなせる力が身についていくわけではありません。生徒たちが英語を使ってさまざまなことの「できる」(CAN-DO)英語使用者となるためには、自ら考え、判断し、表現するプロセスと一体となった言語体験が不可欠なのです。



編集委員
名城大学教授
松村 昌紀

「自分の言葉」で 伝える力をつけていく 生徒の成長ステップ

教科書のさまざまな教材や活動を通して英語を理解し、使いながら、伝える力を段階的につけていきます。

自分のことも
社会や世界のことも、
伝えたいことが
言える！書ける！

英語で伝える力が
飛躍的にアップ！

卒業時

STEP
4

多様な題材について、
意見やその理由を述べたり、
説明や描写をしたりする

Daily Life / World Tour / Let's Read など
≫本書20～25ページ

STEP
3

さまざまな言語活動を通じて
思考力・判断力・表現力を養う

Unit Goal / You Can Do It! /
Let's Talk! / Story Retelling など
≫本書15～19ページ

STEP
2

本文の表現を
自分なりに
使ってみる

Unit 本文など
≫本書13ページ

What did you
do during
winter vacation?

I went to

STEP
1

写真・イラストを使った
Small Talkで、
シンプルなQ&Aに慣れる

Unit 扉など
≫本書12ページ

中学校では、
英語でどんなことが
できるように
なるのかな...

入学時

帯活動で3年間。くり返し 使うから、即興力がつく。



詳しくはこちら

Story Retelling

Unit 7 New Year Holidays in

1

New Year / a temple

2

bell / home / TV

3

toshikoshi soba / long

4

a cold / poor

5

a fever / missed

6

traditional buildings / Japan

帯教材 Story Retelling

会話文から叙述文へ。
自分の言葉で話す力をつける

巻末に、ストーリーの展開に沿った各Unitのイラストを掲載。絵の描写をしたり、既習のストーリーの内容を説明したりするリテリング活動を継続的にやり、即興で話す力を伸ばします。

キーワード

話す内容のヒントとしてキーワードを示し、活動に取り組みやすくなりました。

On New Year's Day, Tina, Eri, and Hajin went *hatsumode*

1年 p. 142 Story Retelling

Picture Description (絵を見て内容を描写すること)は、英検の二次試験をはじめ、各種外部試験でもよく見られます。普段から活動を通して慣れておくことが大切です。

Let's Talk!

1 This Is Me | 2 My Life | 3 My Future

1～3年 とじ込みページ Let's Talk!

帯教材 Let's Talk!

即興で1分間、やり取りを続ける力をつける

自分自身や身近な話題について、即興でやり取りする力をつける教材です。話を始める質問文と、答えの手がかりとなる表現を示し、生徒が選んで使えるようにしました。授業冒頭5分の帯活動などでくり返し活用できます。

3つの共通テーマ

3学年とも「This Is Me」「My Life」「My Future」という、3つの共通テーマで構成。同じテーマで継続的に話すことで、話せる内容が少しずつ増え、成長を実感できます。

相づち表現

This Is Me

Questions

- When is your birthday?
- What is your favorite subject?
- What TV programs do you like?
- Do you like spring?
- Do you play any sports?
- Who is your favorite actor?
- Are you interested in music?
- Which do you want, new video games or comics?

Answers

- My birthday is ...
- I like ...
- I'm good at ...
- I want ...
- ... is my favorite.

やり取りの例

参考映像を見ながら、やり取りを続けるイメージをもつことができます。



よく使う語句

/ どのテーマでもよく使う語句や表現が、いつでも参照できるつくりです。 \

3 リアルな場面・題材

世界を広げ、多様な見方・考え方を育てる

実社会に即したコミュニケーションの目的や場面・状況を設定した教材を豊富に取りそろえ、領域を絞って実践的な英語の力を伸ばします。

また、さまざまな地域の話題とあらゆる形式の題材が、多様な見方・考え方を育みます。

2年 p. 41 Daily Life 2「アナウンス」



1. あなたの乗る便に変更がありました。空港のアナウンスを聞き、新しい情報を確かめ、() に数字を書きましょう。午前か午後は○で囲みましょう。

・搭乗口() 番 ・搭乗開始時刻 午前 / 午後(:)

2. 機内のアナウンスを聞き、手荷物の置き場所として適切なもの全てに ✓ を付けましょう。



聞く

- ラジオ番組の中継リポートを聞く
1年 p. 129 Daily Life 5「ラジオの中継」
- 美術館で、作品の解説を聞く
2年 p. 117 Daily Life 8「音声ガイド」
- 環境問題に関するニュースを聞く
3年 p. 74 Daily Life 4「ニュース」
- 空港で
アナウンスを聞き取る
2年 p. 41
Daily Life 2「アナウンス」

など



読む

- パーティーのアイデアを
ウェブサイトを探す
1年 p. 117 Daily Life 4「ウェブサイト」
- ボランティア募集の
ポスターを読む
3年 p. 64 Daily Life 3「ポスター」

など



書く

- 英語で宛名を書く
1年 p. 37 Daily Life 1「国際郵便」



やり取り

- 朝食を注文する
1年 p. 95 Daily Life 3「カフェ」
- 電話で用件を伝える
2年 p. 29 Daily Life 1「電話」
- 友達の体調を気遣う
2年 p. 73 Daily Life 6「体調不良」

など



Daily Life

領域別に 実践的な英語の力を伸ばす

空港アナウンスの聞き取りや、カフェでの注文のやり取りなど、実社会に即したリアルで具体的なコミュニケーションの目的や場面・状況を設定し、それぞれの場面で必要な領域や表現に焦点を当てて練習する教材です。各種英語の資格・能力テストはもちろん、生徒が将来同じ場面に出会ったときにも役立つ英語力が身につきます。

多様な題材が グローバルな 見方・考え方を 育む

多様な見方が できる題材

「世界を舞台に働く人」の題材では、活躍のしかたが異なる2人を見開きで紹介し、「世界を舞台」にした働き方にもさまざまな形があることに気づけるようにしました。

World Tour

世界への視野を広げ、 国際理解を深める

さまざまな国の情報を得て世界への視野を広げ、国際理解を深める教材です。「世界の中学生」などの身近な話題から、「世界がもし100人の村だったら」などの社会的・時事的な話題へと、各学年の目標に沿って話題が広がります。また、話題について友達と話し合い、「何を感じたか」「別の見方がないか」などと考えを深める問いを設定し、受け身の学習にならないように工夫しました。

World Tour

2

世界を舞台に働く人

世界で活躍する人たちについて知ろう

1

(1)

Japan

↓

Bangladesh

バングラデシュ

(2)

(3)

(4)

バングラデシュ

南アジアに位置する国です。水資源が豊富で、米やジャート（麻の一種）の生産に適しています。近年は経済が急成長する一方で、インフラの未整備や貧困問題といった課題も多く抱えています。

2

(1)

Canada

↓

Japan

(2)

(3)

(4)

Think

日本の特産品や伝統文化に魅力を感じ、日本で活躍する外国人はたくさんいます。どんな人があるか、調べてみましょう。

Read

1. 上の(1)～(4)の場面に合う文をそれぞれ下から選び、□に記号を書きましょう。

When he used the knife, he was so surprised. It was not only beautiful but also very sharp. He came to love Japanese knives, so

New Words

Bjorn Heiberg
ビヨーン・ハイバーク（男性の名）
knife → knives

2年 pp. 90-91 World Tour 2

Let's Read

目的に応じて読み、 自分の考えを深める

まとまった分量の文章を読み、目的に応じた読み方を身につける教材です。さまざまな話題や形式の文章で、内容を読み取る学習ができるだけでなく、キャリア・情報・科学・福祉・平和・環境問題などの今日的課題についての考えを深め、自分の意見を表現する活動にもつなげることができます。

After You Read

インタビューの内容に合うように、□に入る語を本文から探して書きましょう。

1

今の考え方に大きな影響を与えた出来事

After the Great East Japan Earthquake, I felt sad and .
I feel every day.

2

英語でのコミュニケーションについて

It was really to communicate in English.
I sometimes feel I should more English.

3

スタートを続けられる理由

I don't difficult times.
I love to my limits.

4

メッセージ

Be
Do your

Think

1. 羽生選手からのメッセージを聞いて、どのような感想をもちましたか。
2. あなた自身が羽生選手にインタビューをしたら、どのようなことを質問したいですか。

After You Read

読んだ内容についてまとめた後に、生徒の考えを問う課題を設定。学習段階に応じて考えを話したり書いたりする技能統合型の活動を取り入れることで、表現力を育成します。

Let's Read

Goal Reading

インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。

2

Before You Read

あなたは、羽生選手についてどのようなことを知っていますか。

TIPS for Reading

いちばん伝えたいこと
インタビュー記事を読むときは、質問に対する答どこにあるのでしょうか。

さまざまな困難に立ち向かい、競技を続けてきた羽生 結弦選手。その強さの秘密は、どこにあるのでしょうか。

Meet Hanyu Yuzuru

eighty-six

Before You Read

英文を読む前に、生徒の知識を生かして内容を予測させたり、読む目的を与えたりする問いを用意しました。

2年 pp. 86-89 Let's Read 2

Q どんなことに気をつけて 題材を選んでいきますか。

教科書の題材は生徒に、自分の人生観、社会観、文化観などを見つめ直す機会を与えてくれます。Here We Go!では、身の回りに関することから始まって、少しずつ社会的な話題へと、生徒の関心が自然と広がるように題材の取り上げ方を工夫しています。とくにWorld TourやLet's Readに設定した“Think”のコーナーは、生徒がこれまで意識してこなかった価値観や多様なものの見方・考え方に気づき、複眼的・批判的な思考力を育むためのきっかけとなることでしょう。題材を通して、生徒一人ひとりが地球市民としての意識や自覚を高め、現代社会が抱えるローカル及びグローバルな課題を「自分のこと」として捉えることができるよう、願っています。

多文化・多言語
共生社会を見据え、多様なものの
見方を育む題材
を選んでいきます。



編集委員
大阪教育大学教授
加賀田 哲也

SDGsや他教科につながる題材で、 多様な見方・考え方を育てる

各学年の目標に沿ったトピックを、単元をこえて複数の教材で扱います。
英語を通して学んだ知識を、自分の生活やSDGsなど実社会の問題、
他教科の学習等と有機的に結びつけて、深い学びを実現します。

持続可能な開発目標(SDGs)とも
しっかり関連！



1年

自分と他者



World Tour 1
世界の中学生

You Can Do It! 1
自己紹介で共通
点・相違点を見つ
けよう

Unit 4
Our New Friend

生活・慣習



Unit 5
This Is Our School

You Can Do It! 3
学校行事の紹介ページを作ろう

Unit 7
New Year
Holidays in Japan

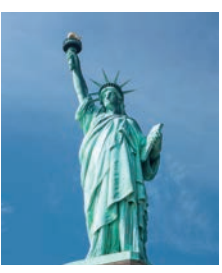
Let's Read More
My Japanese Lessons

外国の物語



2年

異文化理解

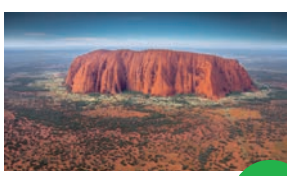


Unit 4
Tour in New York City



World Tour 1
いろいろな単位

Unit 7
Amazing Australia



社会



Let's Read More 2
Aboriginal Art

美術

安全・防災



Unit 5
Earthquake Drill

社会

キャリア



Unit 6
Work Experience

道徳



Unit 6
職業診断のチャートを作ろう

郷土・伝統文化 など



Unit 7
観光案内

社会



Daily Life 8
音声ガイド

美術

You Can Do It! 3
日本のおもしろいもの
を紹介しよう

1年 Let's Read 2
The Lion and the Mouse



2年 Let's Read 1
Sukh's White Horse

国語



3年 Let's Read More 3
The Adventures of
Tom Sawyer

3年

教育



Unit 1
School Life
Around the World

道徳



Unit 4
AI Technology and Language

You Can Do It! 2
学校に必要なものを考えて
意見を伝えよう



Let's Read 2
Robots Make
Dreams Come True

道徳

科学技術・福祉



Unit 5
Plastic Waste

理科



Let's Read 3
Changing the World

国語

環境問題



Unit 5
Living With Animals
(絶滅危惧種の現状とその原因)

理科



Unit 5
Plastic Waste

理科

人権・共生



Let's Read More 1
The Runner Wearing
Number 67



Let's Read More 2
Visas for 6,000 Lives

道徳

先生方の疑問や不安が安心に変わります

これからの課題

に対応した教科書の工夫

Q1 **小中連携**のために、
どのような対応がされていますか？



A 小学校での既習事項がわかるよう、
巻末では語彙と文法に  マークを付けました。

Word List (語彙)

Word List			品詞など
● この教科書で出てきた語や連語とその意味を一覧にしています。			
●  マークは、小学校で習った語を示しています。			
● 数字は、その意味がこの教科書で初めて出るページを示しています。			
● 太字の語は特に重要な、3年生までに使えるようにしたい語です。			
A	A / a	どれも	56
B		Anything else? → else	56
C	● a [ə/éi]  ある、1つ[人・匹など]の	● apple [æpl]  リンゴ	25 18
D	● about [əbaút]  〜について(の)、	● April [eiprəl]  4月	33 15
E	〜に関して	● aquarium [əkwə'riəm]  水族館	6 55
F	● abroad [əbrɔ:d]  外国に[へで]、海外に[へで] とじ込み6	● are [ɑ:/ə]  〜である、〜になる、	6 6
G	● active [æktiv]  活発な、元気な	(〜に) ある、(〜に) いる	86 6
H	● activity [æktivəti]  活動、運動	aren't [ənt] are not の短縮形	38 58
I	● actor [æktə]  (女性も含め一般的に)俳優	Argentina [ɑ:dʒəntinə]  アルゼンチン	99 57
J	● after [æftə]  ①(順序)〜の次に、〜の後に[で]	● art [ɑ:t]  向きを変えて、くると	99 39
K	②(時間)〜の後に[で]	turn ~ around → turn	99 39
L	● afternoon [æftə'nú:n]  午後	● artist [ɑ:tist]  美術、芸術	79 67
M	● age [eids]  年齢	● as [æz/əz]  芸術家	117 67
N	● album [ælbəm]  アルバム	● at [æt/ət]  ①(優劣などを表す言葉とともに)〜の点で、〜において、〜に関して	120 150
	● all [ɔ:l]  まったく、すっかり	ask [æsk]  (人)にたずねる、質問する	81 66
	all over the world → world	● astronaut [æstrə'nɔ:t]  (人)にたずねる、質問する	60 67
	(主語・目的語の両格に用いて)	astronomy [əstrə'nɔ:mɪ]  宇宙飛行士	61 147
		● at [æt/ət]  天文学	61 147
		be good at ~ → good	61 61
		②(地点・場所)〜に[で]	61 61

1年 p. 158 Word List

基本文のまとめ (文法)

Unit 5-2	☒ Watch your step.  ☒ Don't use the phone. ☒ Let's go to the classroom. 
Unit 5-3	☒ When's the school open day?  —On Saturday, October 29.  ☒ When do you have drama club? —After clean-up time.
DL 2	☒ Whose pencil case is that?

1年 p. 173 基本文のまとめ

・小学校の既習事項を早期段階で
再び扱うように設計

小中連携に関する詳しい内容は、
内容解説資料「**小中連携ガイド**」を
ご覧ください！



A 1年巻頭の小中接続期教材は、小学校の学びをふり返り、
生徒ができることを確かめられる内容にしました。

Let's Be Friends!



1年 pp. 10-11 Let's Be Friends! 3 「世界のどこかへ行ってみよう」

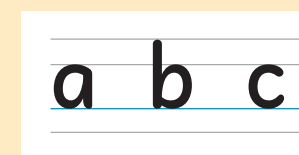
- ・接続期の7つの活動は、全て小学校での学習事項(語句と表現)でできる
- ・「聞く」から始めて「話す」, 「書く」へ

光村図書の小学校英語教科書の
キャラクターも登場します！



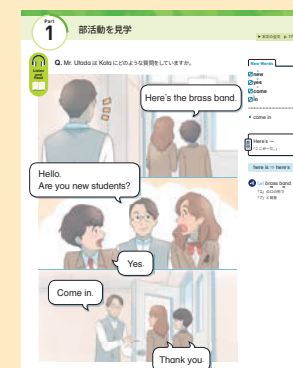
A 1年 Unit 3までを、
文字を読む準備期間とし、
負担を少なくしました。

・小中接続期教材では、
小学校と同様の
手書きフォント*を使用



小文字の識別のしやすさに
配慮し、基線と2線目の間隔が
広い4線を採用しています。

・Unit 1～3の本文を
マンガのような
レイアウトに



1年 p. 40 Unit 2 Part 1

- *手書きフォントについて
- ・光村図書が独自に開発した、「書くときのモデル」となるフォントです。
- ・4線の幅は、文部科学省移行期教材 We Can! や、光村図書の小学校英語教科書と同様です。
- ・フォント及び4線のデータは、「指導書セット」に収録しています。

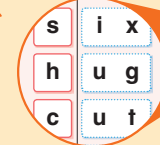
A 帯活動で発音とつづりの
ルールを学ぶ教材を
1年の巻頭に用意しました。

Sounds and Letters



1年 pp. 20-21 Sounds and Letters

折って発見！



Q2 語彙数の増加に、 どのように対応していますか？



A 受容語彙と発信語彙を区別して示し、 語彙の指導に軽重をつけられるようにしました。

「発信語彙（特に重要な、3年生までに使えるようにしたい語）を中心に指導し、受容語彙（読んだり聞いたりしたときに意味がわかる語）については、つづりを書けるまでの指導はしなくてよい」という考えのもと、発信語彙は太字、受容語彙は細字で示しました。

New Words

☒ later
☒ clean-up
☒ time
☒ clean
☒ day
☒ sweep
☒ wipe

細字の語は
意味がわかれば
OK！

発信語彙（使えるようにしたい語）
選定にあたっての考え方

発信語彙（特に重要な、3年生までに使えるようにしたい語）の選定にあたっては、複数のコーパスやCEFR-Jの語彙リスト、小学校英語の語彙リスト、過去の検定教科書掲載語などを基にした独自のコーパスを作成し、その中の上位1100語程度を発信語彙として選定しました。

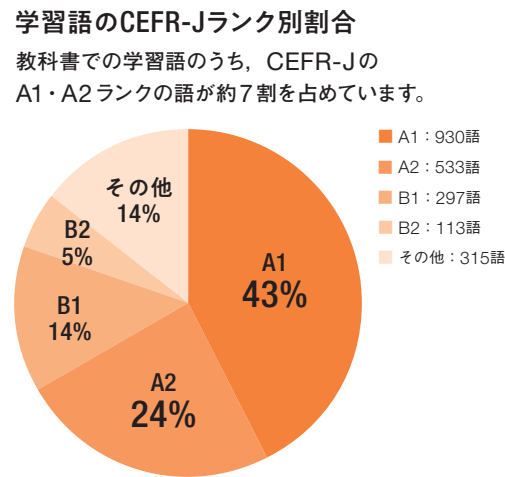
小学校での学習語も
9割以上をカバーし、
くり返し学習できるように
なっています。

Here We Go! ENGLISH COURSE 語彙データ

	学習語		学習語のうち太字の語	
	中学校初出語	小学校学習語*	中学校初出語	小学校学習語
1年	467語	493語	280語	392語
2年	544語	61語	235語	43語
3年	603語	20語	134語	9語
計	1614語	574語	649語	444語
小中合計	2188語		1093語	

*小学校学習語について
・光村図書の小学校英語教科書で学習した語のうち614語を「小学校学習語」と定めました。このうち中学校教科書では574語を掲載しました。
・小学校学習語も、(読み・書きを十分に扱い定着を目指すものではないため) 本教科書ではNew Words欄に示し、改めて学習することを促します。

上記に加え、付録の読み物教材などで、さらに100語程度の語彙にふれることができます。



A くり返し、使いながら学ぶことで、 語彙を習得・活用できるよう設計しました。

Word Board

やり取り・発表などの言語活動に応じて、その場面で必要な語を示し、活用しながら学ぶことができるようにしています。

1年 p. 51 Unit 3 Part 1

Word Board
 ・play the guitar
 ・surf the Internet
 ・walk my dog

Tina たちが週末の過ごし方をたずね合っています。
 1. それぞれの人物と答えを、線で結びましょう。
 2. 3人ですることになったものに、✓を付けましょう。

(1) Eri (2) Kota

go to the library go to the park go fishing watch videos

About You ペアになり、週末にすることをたずね合いましょう。▶ Active Words p. 149

[例] What do you do on weekends?
 I usually run in the park. How about you?
 I usually stay home.
 I sometimes play igo with my grandfather.

Word Board
 play the guitar
 surf the Internet
 walk my dog

▶ Active Words p. 149

Active Words

生徒自身のことを話したり書いたりする活動に役立つ身近な語彙を、カテゴリごとに整理しました。同じページを何度も開いてくり返し触れたり使ったりするうちに、豊かな語彙が身につきます。

1年 p. 149 Active Words

Weekends and Vacations

go shopping
buy stationery
see a movie
chat with friends

take a walk
walk my dog
run in the park
go to the library
eat out
sing karaoke

【Outdoors 外で、週末に】
 go jogging
go to a concert
go to my friend's house
have club activities
skateboard
swim in a pool
watch a soccer game

【Where do you go? どこに行く?】
 amusement park
aquarium
bookstore
cafe
convenience store
department store
gym

hospital
market
museum
restaurant
shopping mall
supermarket
stadium
zoo

どの場面で使用するかを、Unit内・Active Words双方のページで提示しています。

A ビジュアルを活用した解説で、 効果的に語彙力を高められるようにしました。

英語のしくみ

語彙の基本イメージを捉えたり、知っている語と関連づけたりして、語彙の意味を推測する力を高める巻末付録教材です。

1-1 基本動詞のイメージと広がり

have や make などのよく使う基本的な動詞の、中心的なイメージから意味や使い方の広がりを捉えてみましょう。

1 have 所有している

2 make 作り出す

3 take 手に取る

4 get 得る

4-1 英単語の成り立ち

つづりが長い英単語は、基本となる語に頭(接頭辞)や尻尾(接尾辞)が付け加えられて、1つの単語になっている場合があります。

頭

体

尻尾

接頭辞
主に意味を加える

基本となる語
中心的な意味を表す

接尾辞
主に品詞を決める

[例] unusually
 = un- (否定) + usual (いつもの) + -ly (形容詞化)
 = 「いつもとは違って」→「普通ではなく、珍しく」

頭(接頭辞) un + fair (否定)「公平な」 → unfair 「不公平な」
 un-

尻尾(接尾辞) teach + er (教える) (人) → teacher 「教師」
 -er

Here We Go! ENGLISH COURSE 編集の趣旨と特色 29

28

Q3 高校入試や外部試験に求められる力は、 どのように育成できますか？



A 読む機会と読む量が段階的に増えていく設計により「量に負けない」生徒が育つようにしました。

読む教材一覧

学年	単 元	語数
1年	Unit 5 Goal (案内状)	61
	Unit 6 Goal (紹介文)	52
	Unit 7 Goal (はがき)	70
	Daily Life 4 (ウェブサイト)	85
	Let's Read 1 (説明文)	52
	Let's Read 2 (物語)	112
	Let's Read More (レポート)	155



2年以降は Let's Read に限らず Unit の Goal や小单元にも読む教材を増やし、まとまった文章を読む練習の回数を確保します。

多様なテキストタイプが読み、外部試験への対応力がUP!

学年	単 元	語数
2年	Unit 1 Goal (日記)	113
	Unit 3 Goal (メール)	76
	Unit 4 Goal (ガイドブック)	147
	Unit 6 Goal (レポート)	89
	Unit 7 Goal (記事)	105
	Unit 8 Goal (記事)	117
	Daily Life 5 (お知らせ)	78
	Daily Life 7 (観光案内)	201
	World Tour 2 (紹介文)	218
	Let's Read 1 (物語)	396
3年	Let's Read 2 (インタビュー)	394
	Let's Read 3 (説明文)	357
	Let's Read More 1 (ガイド)	163
	Let's Read More 2 (説明文)	214

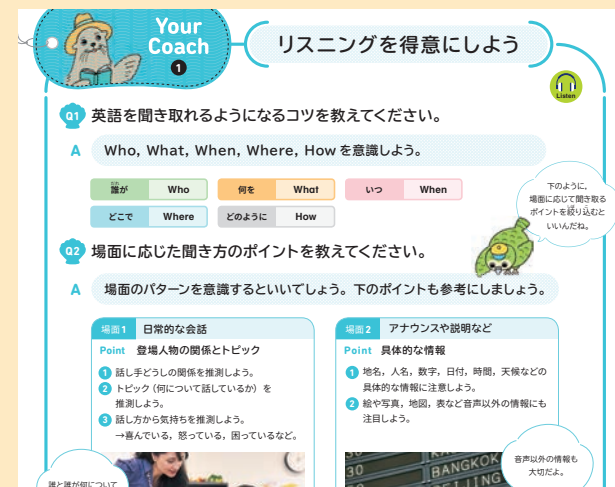
ards. We
[357 words]

読む教材全ての文末に Word 数を記しています。高校入試や高校英語への接続の目安になります。

A 高校入試からその先の学びにまで役立つ領域別のコツを示し、 自律的学習者を育成できるようにしました。

Your Coach (聞く)

学力テストや外部試験などでよく出る場面のパターンを取り上げ、場面や目的を意識して聞くコツを紹介しています。具体的な教材と合わせて扱うことで、まとまった分量の英語を聞き取る力が身につきます。



2年 p. 45 Your Coach 1

Your Coach (書く)

3年では、まとまった分量の英文を書くためのコツとして、パラグラフ構成の型などを示しています。表現活動のたびに確認して、同じパターンをくり返し練習をすることで、少しずつ書く力が身につきます。



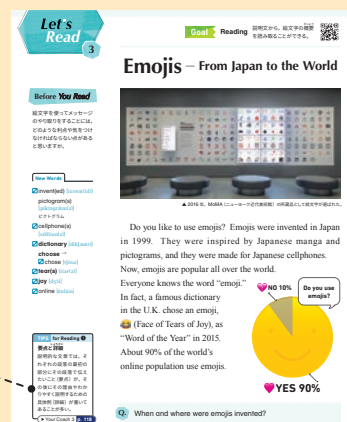
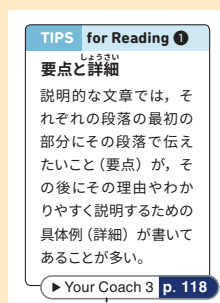
3年 p. 88 Your Coach 2

A 聞いたり読んだりした話題についての感想や意見を、 話したり書いたりする活動を設定しました。

3年では、複数の文章を読み比べ、自分の意見を表現する活動を重点的に扱います。増加傾向にある「論理的思考力」に基づいたアウトプットが求められる問題に対応できる力を育てます。

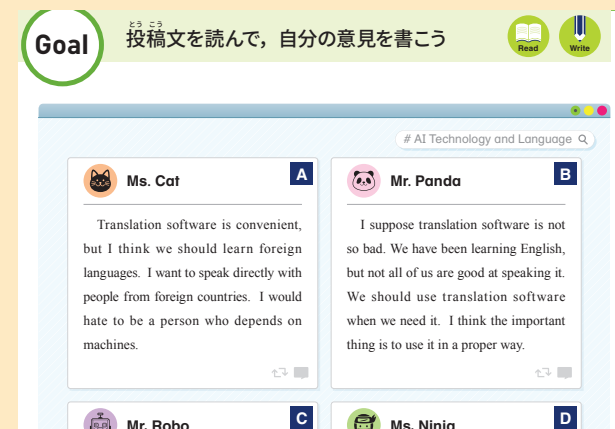
TIPS for Reading

Let's Readを中心に、教材に合わせたTIPS for Readingと、これを活用して取り組む課題を設定。量に負けず、目的に応じた読み方ができるようになります。

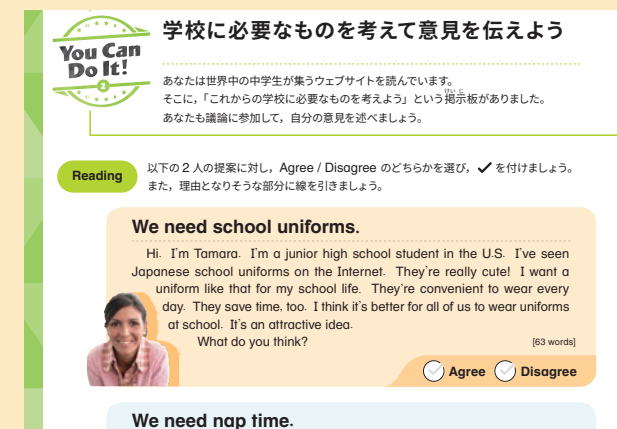


2年 p. 120 Let's Read 3

学年	TIPS for Reading
1年	見出し
	出来事の流れ
2年	出来事の流れ
	いちばん伝えたいこと
	要点と詳細
	図表やグラフ
3年	事実と感想
	段落の要点を捉える
	推測しながら読む
	繰り返しの言葉



3年 p. 58 Unit 4 Goal



3年 p. 86 You Can Do It! 2

Q4 新しい評価について、 どのようなサポートがありますか？



A 授業の中で3つの観点の評価ができるよう、
指導書などで、先生方をサポートします。

・「指導と評価の一体化」を可能にする
年間指導計画や、単元の指導案を用意

・各単元の目標に応じた評価や、
学期末の評価に役立つテストの問題例を収録

観点	評価基準	L	R	SE	SP	W
知識・技能	一般動詞の過去形を使った肯定文、疑問文、否定文やbe動詞の過去形について正確に理解している。	○	○	○		○
	一般動詞やbe動詞の過去形を使った話や会話から、したことや感想を正確に聞き取ることができる。	○				
	一般動詞やbe動詞の過去形を使った英文を読んで、内容を正しく理解したり、正しく音読したりすることができる。		○			
	一般動詞やbe動詞の過去形を使って、したことや感想を正確に伝え合うことができる。			○		
	一般動詞やbe動詞の過去形を使って、したことや感想を正確に書くことができる。					○
思考・判断・表現	登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想を読み取るとともに、はがきの書き方を理解している。		▲			
	ALTに冬休みの出来事を伝えるために、冬休みにしたことや感想をはがきに書いている。					▲
主体的に学習に取り組む態度	登場人物が冬休みにしたことを知るために、はがきから出来事や感想を読み取るとともに、はがきの書き方を理解しようとしている。		■			
	冬休みの出来事の楽しさが伝わるように、出来事や感想をはがきに書こうとしている。					■

年間指導計画例

単元の目標に対する、3つの
観点の評価基準を明示。

unit 5

Speaking Test

(ALTにインタビュー)

This is Our School

Date Class No. Name

ALTの先生に、学校の説明に記入の欄についてインタビューしましょう。

1. 先生に次のことをたずねて、答えたことをメモしましょう。
まず、挨拶と自分の名前を言うことから、インタビューを始めてください。

質問	メモ
① お気に入りの場所	
② 何をするか	
③ いつ利用するか	
④ どこにあるか	
⑤ (自分で考えて)	

2. 例のようにメモしたことを基に、先生が言ったことを確かめましょう。

Your favorite place is the gym.
You play basketball there...

自己評価表

・適切な英語を用いて、5つの質問をすることができた。

D C B A

適切に評価するための
ルーブリックの
例も指導書に用意。

パフォーマンステストの問題例

Here We Go! ENGLISH COURSE 基本データ

週4時間(年間140時間)の授業に対応した、適切なUnit数や語彙数を設定しました。

		1年	2年	3年	合計
ページ数		176	176	176	528
Unit数		8	8	8	24
新出語数	全体の語数	467	544	603	1614
	太字の語数	280	235	134	649
配当時間の目安	主教材	Let's Be Friends!	7	-	7
		Unit	70	72	209
		You Can Do It!	6	6	18
	小教材	Daily Life	5	8	17
		World Tour	2	3	7
		Let's Read	3	10	25
		Active Grammar	7	9	20
	合計時数		100	108	303
教科書連動コンテンツ(QRコンテンツ)の数		191	142	135	468

編集上の配慮

特別支援教育への配慮

特別支援を必要とする生徒に、できる限りの配慮をし、全ての生徒にとって使いやすい教科書を目指しました。特別支援教育の観点から、全ページにわたり、専門家の指導・校閲を受けています。

●他と判別しやすくする工夫

好きな活動をやったり、たずねたりする。

I like music.

I like dancing.

Do you like dancing?

動詞の-ing形

動詞の語尾を-ingの形にすると、「～する」という名詞と同じような働きで使うことができます。

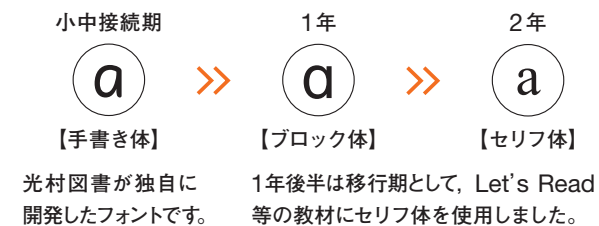
play	playing
dance	dancing
run	running

「基本文」など学習上重要な箇所は、太い線ではっきり囲んで、他の情報と区別できるようにしました。

書体の選定における配慮

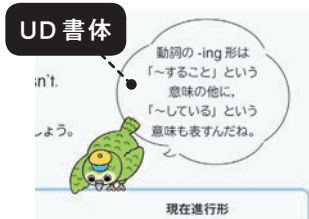
●発達段階に合わせた英語の書体を使用

1年で、小学校英語教科書で使っている手書き文字に近い書体からブロック体につなげます。また、1年後半から2年をセリフ体への移行期と位置づけ、外部試験等で使われるセリフ体に少しずつ慣れることができるようにしました。



●日本語の読みやすさへの配慮

ふきだし内などの小さい文字には、読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン(UD)書体を使用しています。



色覚の多様性への配慮

色覚特性のある生徒が、色を識別できないことが理由で学習に支障をきたすことがないように、全ページにわたり、カラーユニバーサルデザインの専門家の指導・校閲を受けています。

●色に頼らず、形でも認識できるように

I

play

the trumpet.

Do

you

play

the piano?

Yes, I do. / No, I do not.

主語と動詞を色だけでなく形でも識別できるようにしました。

人権上の配慮

人権教育に配慮した教材の選定や学習活動を行うために、次のような点に配慮しました。

- ・取り上げる題材や登場人物などについて、性別や身体的特徴、年齢、人種、国、地域などに極端な偏りがないう配慮しました。
- ・旧来の固定的イメージにつながるような表現をできるだけ避け、家事をする男性や働く女性の姿などを取り上げました。



指導書・周辺教材

充実のラインアップで、
先生の「働き方改革」を応援します。

○指導書セット

Teacher’s Book（朱書編）	教科書の紙面上に文法・語句の解説や、訳例・解答例、音声指導のポイントを記載。英語でのやり取りや発問例等も、豊富に掲載しています。
指導・評価編	年間指導計画や指導案を掲載。また、指導に生かせる評価のあり方や評価基準など、先生方が知りたい情報を1冊にまとめています。
解説編	訳例や解答例、文法・語法の解説、題材関連情報などを掲載した冊子です。
ワークシート編	各単元に対応した、日々の授業を支えるワークシートを掲載。PDF形式のほか、加工可能なWord形式のファイルもデータDVD内に収録しています。
ラウンドシステム・ガイドブック	教科書のストーリーを最大限に活用した指導法「ラウンドシステム」の授業のすすめ方や指導のポイントを紹介した冊子です。
データDVD	年間指導計画や本文、指導語彙、テスト問題例、ストーリーのイラスト等のデータを収録。
音声CD	教科書連動コンテンツに掲載している音声、および評価テスト(リスニング)の音声を収録。

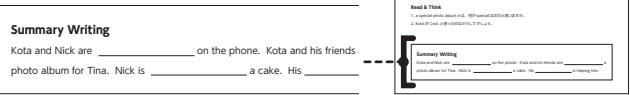
指導書 Teacher’s Book（朱書編）

英語でのやり取りや発問例等を豊富に掲載しています。特に、授業冒頭に行くSmall Talk例が充実。



指導書 ワークシート編

リーディングタスクが充実。本文の内容理解だけではなく、登場人物の気持ちを考える問いなどの補充問題や書く力を育てるSummary Writingも掲載。



○生徒用教材

ワークブック	各学年 B5判	各単元の新出語句や基本文などの知識の確認を中心に、読解問題や自己表現を含む総合的な問題演習帳。切り取り可能な解答書付き。
学習サブノート	各学年 B5判	新出語句や基本文の確認をはじめ、授業で学んだことを自由に書き込み、自分なりのまとめや整理が可能な学習ノートです。
基本文型集	各学年 B6判	基本的な文法・文型の例文を学習順に整理した活用例文集。基本文の確認や応用練習に最適。自学自習に便利な赤シート付き。
リスニングCD	各学年 2枚組 ミニブック付	各単元の本文のリスニングや音読練習に最適な音声教材。各Unitの新出語句や基本文の音声も収録しています。
ラウンドシステム・ワークブック	B5判	「ラウンドシステム」方式の授業にお使いいただけるワークシート集です。

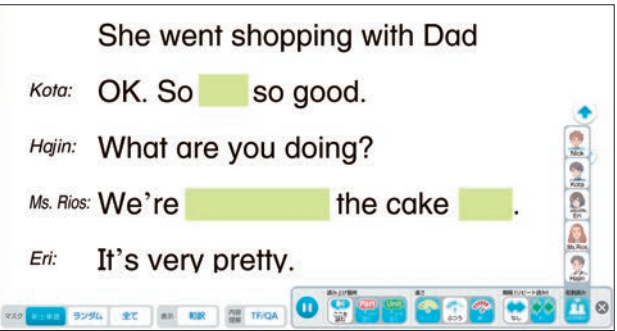
※指導書・教材類の内容・仕様は変更になる可能性があります。

○指導用教材

ピクチャーカード	各学年 B3判	教科書のイラストや資料写真などを大判化した提示用教材。裏面には本文や音声スクリプトなどを掲載しています。
フラッシュカード	各学年 128mm×364mm	教科書の新出語句(単語・熟語)を掲載順に収録し、大判化した提示用教材。裏面には日本語訳を掲載しています。
指導用CD	各学年 9～10枚	教科書内容を完全網羅した音声CDセット。臨場感溢れる効果音とともに本文ストーリーを再現。音声スクリプトや使い方を示した小冊子付き。
映像資料集	各学年 一式	各Unitの本文ストーリーの実写のドラマ映像や参考資料の映像を収録。言語の使用場面や状況の確認に効果的です。

○デジタル教科書, デジタル教材

教科書に沿った「学習者用デジタル教科書」のほか、「指導者用デジタル教科書(教材)」には本文の音声再生などの充実した機能と、ピクチャーカード・フラッシュカード・参考映像などの豊富なコンテンツを収録。英語の授業をサポートします。



指導者用デジタル教科書(教材)



指導者用デジタル教科書(教材) 1年 Unit 8

ストーリーを
実写のドラマ
映像で！

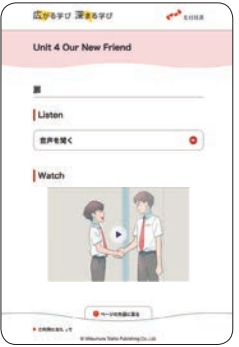
○ウェブサイト

光村図書の教科書紹介サイトから、教科書の内容解説資料や年間指導計画、CAN-DOリストなどをダウンロードできます。

○教科書連動コンテンツ

映像や音声など、自宅での英語学習に活用できるコンテンツを豊富に用意。教科書記載のQRコードを読み取ると、これらを自由に視聴・閲覧することができます。

「広がる学び
深まる学び」
トップページへは
こちらから



○拡大教科書

弱視の生徒の学習負担を軽減するため、文字や画像を大きくした教科書です。単純に拡大するのではなく、教材内容を損なわないように再構成しています。拡大教科書は、特別支援を要する生徒の指導にも有効とされています。

指導書・教材等に関する詳しい内容は、
内容解説資料「先生の働き方改革を
応援します。」をご覧ください。